

東日本大震災 2 周年行事

3月10日（日），シアトルセンターにおいて，ワシントン州日米協会及びシアトルセンターとの共催により，当地コミュニティ団体の協力も得て，東日本大震災2周年行事“Shout Out to Japan – Cheers from Seattle”を開催し，約2千人が来場しました。



当日は，スミス・シアトル市副市長のご出席・ご挨拶の他，ルース駐日米国大使，インズリー・ワシントン州知事，井戸兵庫県知事などの日米両政府・自治体首脳や，シアトル・マリナーズで活躍中の岩隈選手などの著名人によるメッセージが寄せられました。

百々総領事代理からは，本行事の協力団体・個人・ボランティアへの謝意と共に，東北の復興と日本再生にける我が国の決意，キズナ強化プロジェクトに例示されるキズナの日本再生における意義等を述べました。





この他、当日は、震災復興関連ドキュメンタリー「東北夏祭り～鎮魂と絆と～」の上映、キズナ強化プロジェクト参加日本人高校生及び同プロジェクトを通じて当地から東北地方を訪問したルーズベルト高校及びガーフィールド高校の生徒によるプレゼンテーション、コスプレ・カラオケ・アニメソング・復興支援ソングの合唱などを通じたメッセージ発信、日本関連団体によるブース設置、被災地の物産紹介を含め、様々な行事が実施されました。



本行事にご協力いただいた皆様に、この場をお借りしてお礼いたします。